

第6回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会  
2015年6月13日(土)～14日(日)  
@つくば国際会議場(茨城県つくば市)

ワークショップ8	
タイトル	高齢者診療のウソ・ホント 明日から使えるエビデンス集
日時	6月13日(土) 10:45-12:15
企画責任者	玉井 杏奈 (公募企画)
定員	48名
開催の目的・概要	
<p><b>【開催の目的】</b> フレイルな高齢者へのスタチン投与は続けるべきなのか? 転倒を繰り返す場合の抗凝固療法はどうしたらいいのだろうか? 末期認知症の患者さんに胃ろうの適応はあるのか? 認知症と診断されたら、自動車の運転は禁止すべきだろうか?</p> <p>高齢者診療においては、このような疑問が日々付きまとう。高齢者は臨床試験から除外されがちで、有効なエビデンスは限られる上、更に個別性やインターベンションの不確実性等の加わった複雑系の中で、判断を下すのは容易ではない。このワークショップでは、現在手に入るエビデンスの中で、医学的意思決定上のヒントになりうるものを紹介し、議論したい。</p>	
<p><b>【概要】</b></p> <p>前半部分では高齢者診療と臨床研究、エビデンスの実臨床への適応に関する概論、更に良くある高齢者診療上の疑問に答える形で既知のエビデンスを紹介する。</p> <p>後半部分は、小グループに分かれて症例検討を行う。関連するエビデンスを踏まえて、参加者同士で経験や意見を共有しながら、医学的意思決定に関するディスカッションを行う。</p>	